

第 9 章 港湾・空港

第 1 節 港 湾

1 港湾の概要

本県には、重要港湾が秋田港、船川港、能代港の3港、地方港湾が本荘港、戸賀港の2港、計5つの港湾があり、県は、港湾管理者として港湾整備や管理運営を行っています。

重要港湾の秋田港は、県内の物流の拠点港として内貿・外貿の物流機能の強化と船舶の大型化に対応した整備、船川港は男鹿地域の物流港としての整備、能代港は県北地域の物流港としての整備を進めています。

地方港湾の本荘港及び戸賀港は海洋性レクリエーション基地・観光振興基地として利用されています。

港湾・空港位置図



入港船舶及び海上出入貨物(平成17年)

(単位:隻・総トン・トン)

	入港船舶		海上出入貨物		
	隻数	総トン数	合計	出貨	入貨
秋田港	3,605	17,515,340	9,703,792	2,223,254	7,480,538
船川港	763	522,036	664,621	209,769	454,852
能代港	489	2,235,126	3,600,147	13,445	3,586,702
本荘港	65	20,135	7	0	7
戸賀港	745	13,047	509	0	509
計	5,667	20,305,684	13,969,076	2,446,468	11,522,608

フェリー含む

入港船舶総トン数別比較(平成17年)

	県内全域 (秋田港・船川港・能代港・本荘港・戸賀港)			
	隻数	%	総トン数	%
10,000総トン以上	623	11.0%	14,352,932	70.7%
6,000総トン以上	109	1.9%	737,715	3.6%
3,000総トン以上	676	11.9%	2,729,924	13.4%
1,000総トン以上	569	10.0%	1,406,585	6.9%
500総トン以上	679	12.0%	552,717	2.7%
100総トン以上	1,178	20.8%	495,816	2.4%
5総トン以上	1,833	32.3%	29,995	0.1%
計	5,667	100.0%	20,305,684	100.0%

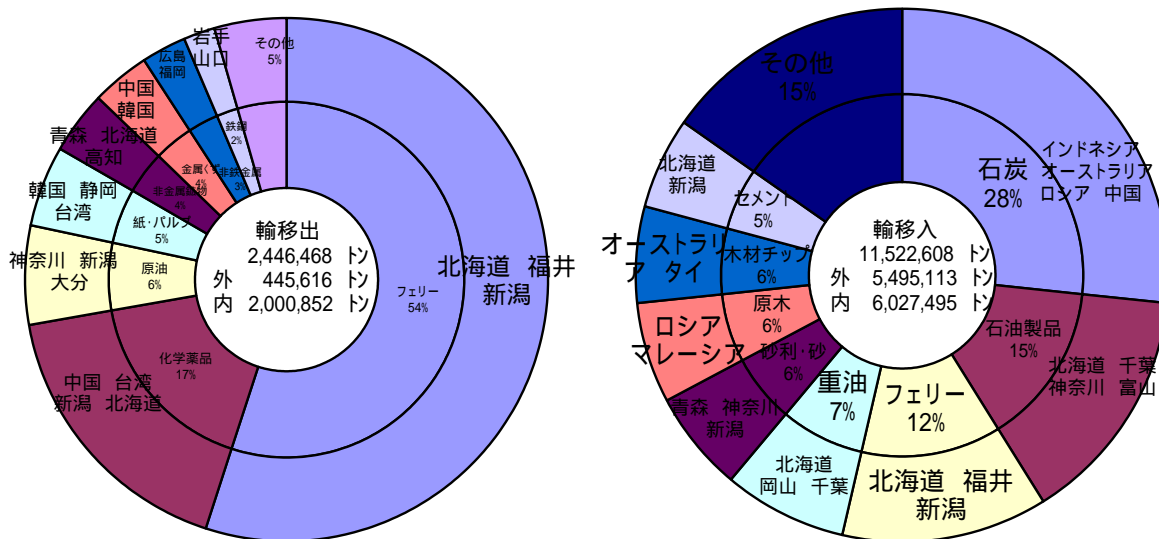
秋田港外貿コンテナ貨物取扱個数

(平成7年11月定期航路開設)

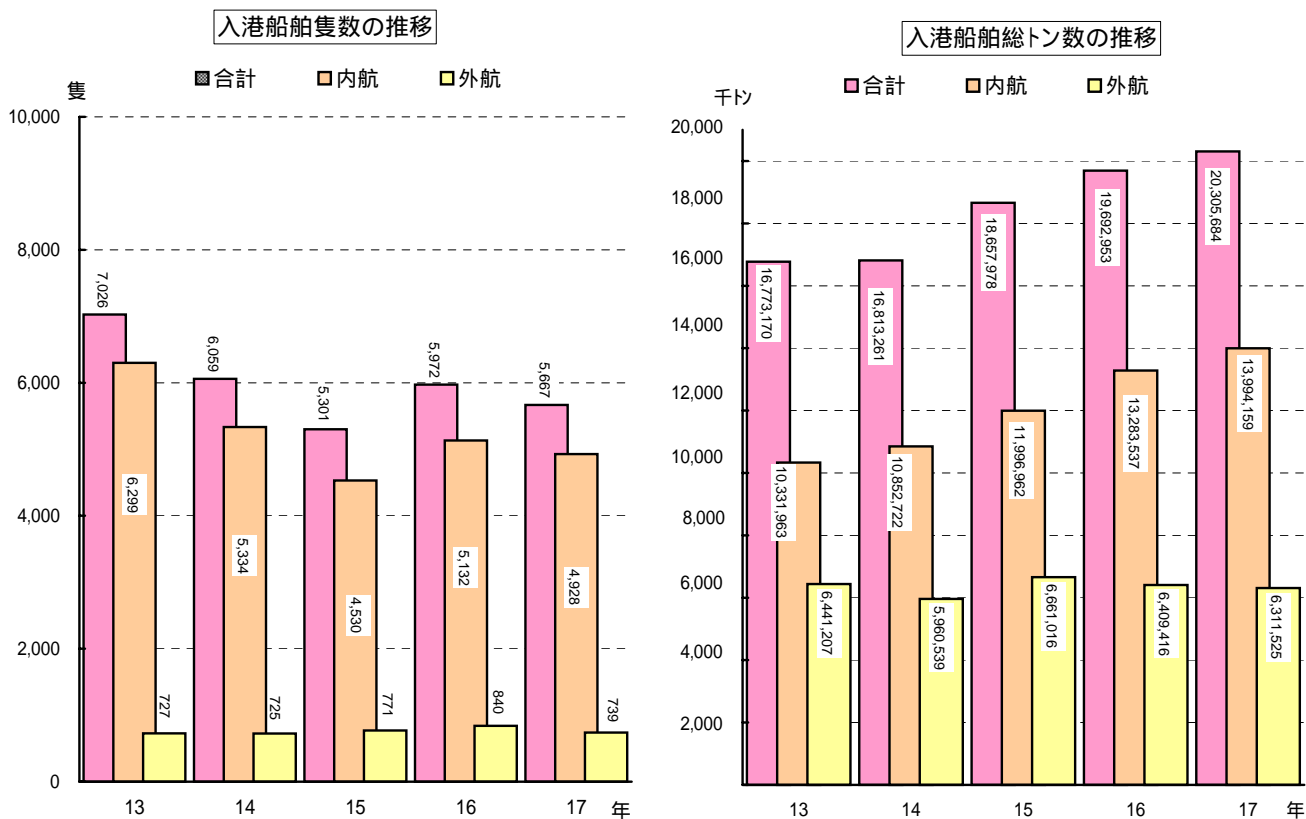
	輸入	輸出	計
平成7年	206	140	346
平成8年	1,775	4,936	6,711
平成9年	3,421	7,308	10,729
平成10年	3,007	6,533	9,540
平成11年	4,221	11,612	15,833
平成12年	4,980	12,928	17,908
平成13年	4,709	15,665	20,374
平成14年	5,915	17,217	23,132
平成15年	6,105	18,836	24,941
平成16年	6,243	19,694	25,937
平成17年	6,024	21,249	27,273

20フィートコンテナ換算(空コンテナを除く)

出入貨物別品種別比較(平成17年)
県内全港



入港船舶の動き
県内全港



1 港湾事業

各港の整備方針と事業計画

[秋田港]

環日本海交流時代に向けて物流拠点港湾としての機能強化を図るため、外郭施設や水域施設の整備を促進します。

[平成18年度主要事業]

港内静穏度や航行船舶の安全を確保するため、第二南防波堤や泊地(-12m)の整備を進めるほか、橋梁の耐震強化の事業を実施します。



秋田港全景

[船川港]

物流機能の強化を図るため、臨港交通施設の整備拡充を図ります。

海洋性レクリエーション基地としての機能の充実を図ります。

[平成18年度主要事業]

臨港道路生鼻崎線の4車線化及び緑地の整備を実施します。

[能代港]

県北部地域の物流基地としての機能強化を図るため、外郭施設や臨港交通施設の整備を推進します。

[平成18年度主要事業]

港内静穏度を確保するため第二北防波堤の整備及び北防波堤の改良事業を進めるほか、橋梁の架替等を実施します。

3 海岸事業

秋田県内における港湾空港課が所管する海岸延長は、県全体(263.3km)の17.7%にあたる46.5kmですが、このうち27.0kmが津波、高潮、波浪等の被害から海岸を防護する海岸保全区域に指定されています。

海岸事業では、日本海特有の冬季風浪等から県土を防護する海岸侵食対策事業を推進します。

[本 荘 港]

海岸の侵食を防止するため、水林地区で離岸堤の整備を実施します。



本荘港全景

第 2 節 空 港

1 秋田空港の概要

本空港は、JR秋田駅の南東25kmに位置し、面積約160ha、長さ2,500mの滑走路と計器着陸装置(ILS)などを備えています。また空港周辺は、600haの広大な県立公園として整備され、緑豊かな都市公園型空港となっています。

就航路線は、東京、大阪、札幌、名古屋の4路線で、着実に県民の足として定着しています。

また平成13年度には国際定期便(ソウル便)の就航を実現、平成14年には国際航空貨物取扱いも開始され、平成16年度には中華航空が台北 - 秋田間でプログラムチャーター便を運航しており、さらに利便性の高い空港となっています。



秋田空港全景

空港施設の概要

設置者	国土交通大臣	場周道路	長 / 6,455m 巾 / 5.5m
管理者	秋田県知事	駐車場	39,276m ² (1,378台)
空港の名称	秋田空港	照明施設	進入灯・滑走路灯・誘導路灯・エプロン灯等
空港の位置	秋田市雄和椿川	無線施設	ILS(計器着陸装置)・VOR / DME
空港の標点	北緯39°36'56"		(超短波全方向式無線標識 / 距離測定装置)
	東経140°13'07"	庁舎管制塔	一式
空港の標高	93.05m	通信施設	一式
空港の種別	第2種B級	気象施設	一式(風向風速・雲高・視程計)
空港の総面積	1,588,900m ²	消防施設	40t水槽8基(化学消防車2台)
着陸帯	長 / 2,620m 巾 / 300m	防雪施設	除雪機械等一式
滑走路	長 / 2,500m 巾 / 60m	ターミナルビル	国内線棟3階建(10,995m ²)国際線棟(一部3階建3,620m ²)
誘導路	長 / 2,830m 巾 / 30~34m	貨物ビル	2棟
エプロン	長 / 310m 巾 / 190m(5パース)	給油施設	200kl / 2基
排水施設	一式	燻蒸・焼却施設	一式

2 大館能代空港の概要

本空港は、県北部の北秋田市脇神に位置し、面積は約120haで、長さ2,000mの滑走路と計器着陸装置(ILS)などを備えています。

平成10年7月18日に開港し、就航路線は、東京、大阪の2路線となっています。また、空港周辺には緩衝緑地帯を活用した「ふれあい緑地」が整備され、センターハウス、クロスカントリースキーコース、展望台等の施設が無料で利用できます。

空港施設の概要

設置者	秋田県知事	場周道路	長/5,243m 巾/5.5m
管理者	秋田県知事	駐車場	13,510m ² (386台)
空港の名称	大館能代空港	照明施設	進入灯・滑走路灯・誘導路灯・エプロン灯等
空港の位置	北秋田市脇神	無線施設	ILS(計器着陸装置)・VOR/DME
空港の標点	北緯40°11'31"		(超短波全方向式無線標識/距離測定装置)
	東経140°22'18"	庁舎管制塔	一式
空港の標高	84.0m	通信施設	一式
空港の種別	第3種	気象施設	一式(風向風速・雲高・視程計)
空港の総面積	1,214,240m ²	消防施設	40t水槽9基(化学消防車1台・消防車1台)
着陸帯	長/2,120m 巾/300m	防雪施設	除雪機械等一式
滑走路	長/2,000m 巾/45m	ターミナルビル	地上2階建一部3階建(4,062m ²)
誘導路	長/230m 巾/30m	貨物ビル	1棟
エプロン	長/225m 巾/110m(4パース)	給油施設	200kl/2基
排水施設	一式		



大館能代空港全景



センターハウス



ターミナル前広場



展望広場